

第10回 全国ユース環境活動発表大会 全国大会

〈実施概要〉

- 日程** 2025年2月1日(土)～2月2日(日)
- 会場** 国連大学 ウ・タント国際会議場、レセプション・ホール
- 主催** 全国ユース環境活動発表大会実行委員会
(環境省／独立行政法人環境再生保全機構／国連大学サステナビリティ高等研究所)
- 後援** 読売新聞社
- 協力** 環境省地方環境パートナーシップオフィス(EPO)／地球環境パートナーシッププラザ(GEOC)／ESD活動支援センター
- 協賛** キリンホールディングス株式会社／協栄産業株式会社／SGホールディングス株式会社／株式会社タニタ／東芝プラントシステム株式会社



会場：国連大学
(東京都渋谷区)

…………… 受賞校の皆さん、おめでとうございます! ……………

全国大会に出場した高校(団体)は、いずれの活動内容も発表も素晴らしく、審査を経て環境大臣賞をはじめすべての出場高校に賞が贈られました。表彰された16高校の活動をご紹介します。

環境大臣賞、環境再生保全機構理事長賞、国連大学サステナビリティ高等研究所所長賞を受賞された3校の皆さんは、「2025年大阪・関西万博」にお越しいただき、「ジュニアSDGsキャンプ」のステージにて活動内容の発表を行っていただきます。また、地元の高校生や来場者との交流会も併せて開催します。

👑 環境大臣賞

徳島県立小松島西高等学校 TOKUSHIMA 雪花菜工房×藻藍部

藻場の再生で環境ビジネス!海洋GXと海洋DXでウミノ経済循環型社会を目指して

海水温上昇によりアイゴやブダイなどの食害魚が増え、藻場が減少しています。私たちは「日本の海と食文化を守る」という目標を掲げ、藻場の再生活動を行ってきました。未利用魚を活用した商品を開発し、その売上の一部を藻場再生のために寄付する仕組みを作りました。自然資源を活用して藻場の養殖を行い、また、海洋DXを活用して藻場の調査を効率化しました。



👑 環境再生保全機構 理事長賞

宮城県農業高等学校 Re: 温故知新

Re:温故知新

地元農家から「肥料が高くて買えない」という相談を受け、肥料削減の研究を開始。田植え後に誤って肥料無しで田植えをするという失敗を通じ、結果として窒素が少なくても収量や食味がほぼ変わらないことが判明しました。この経験を基に、肥料削減の新しい栽培方法を構築。肥料の開発と普及活動を行いました。最終的に肥料を通常の3分の1まで削減することに成功しました。



👑 国連大学サステナビリティ高等研究所 所長賞

北海道岩見沢農業高等学校 自然エネルギー班

厄介者の見方を変えて味方にする!～雪ともみぎらの循環利用による持続可能な農業経営の実現～

岩見沢市は特別豪雪地帯に指定され、1人あたり除排雪費用は札幌市の約2倍。同時に道内有数の稲作地帯で、精米の過程で排出されるもみぎらは余剰状態で、処理が課題です。そんな地域の厄介者「雪」と「もみぎら」を活用し、豪雪地帯における周年栽培を実現させるため、活動を行っています。農家所得の向上はもちろん、冬場の道産野菜確保や新たな北海道ブランドの創出を目的としています。



👑 読売新聞社賞

愛知県立猿投農林高等学校 作庭チーム SAKUR ☆

造園の力で地方創生!～地元資源と地場産業に活路を～

私たちは造園のイベントやコンテストで作庭を手掛けてきましたが、物価高と輸送コスト高騰で石材の確保が難しくなりつつあります。そこで地元小原地区で「美濃焼」の原料として使用できず廃棄物として処理される石材に着目しました。石材の採掘跡地は土砂災害の引き金となるリスクもはらんでいます。造園の力で国土保全と産廃ゼロ、地場産業復活を達成しようという取り組みです。

